

平成28年3月期 決算説明会

平成28年6月2日
株式会社 学究社
(証券コード:9769)

平成27年11月25日、当社株式は東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。

これもひとえに、株主の皆様、お取引様をはじめとした多くの関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も皆様のご期待にお応えできるよう、更なる業容の拡大と企業価値向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

I. 決算概要	P.4
II. 今期の戦略	P.9
III. 参考資料	P.21

I . 決算概要

（単位：百万円、％）

	平成27年3月期	平成28年3月期		前年同期比	
	金額	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	9,318	9,711	100.0	392	4.2
営業利益	1,330	1,409	14.5	79	6.0
経常利益	1,339	1,418	14.6	78	5.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	816	832	8.6	15	1.9

前年同期との比較

- 都立中高一貫校の合格実績及び合格占有率が好調につき
ena小中学部の生徒数が増加
- 新規出校による校舎数の増加
- 校舎数増加による校舎運営費用（人件費、賃借料等）の増加
- 広告宣伝費増加（TVCM、TVタイアップ番組の実施）

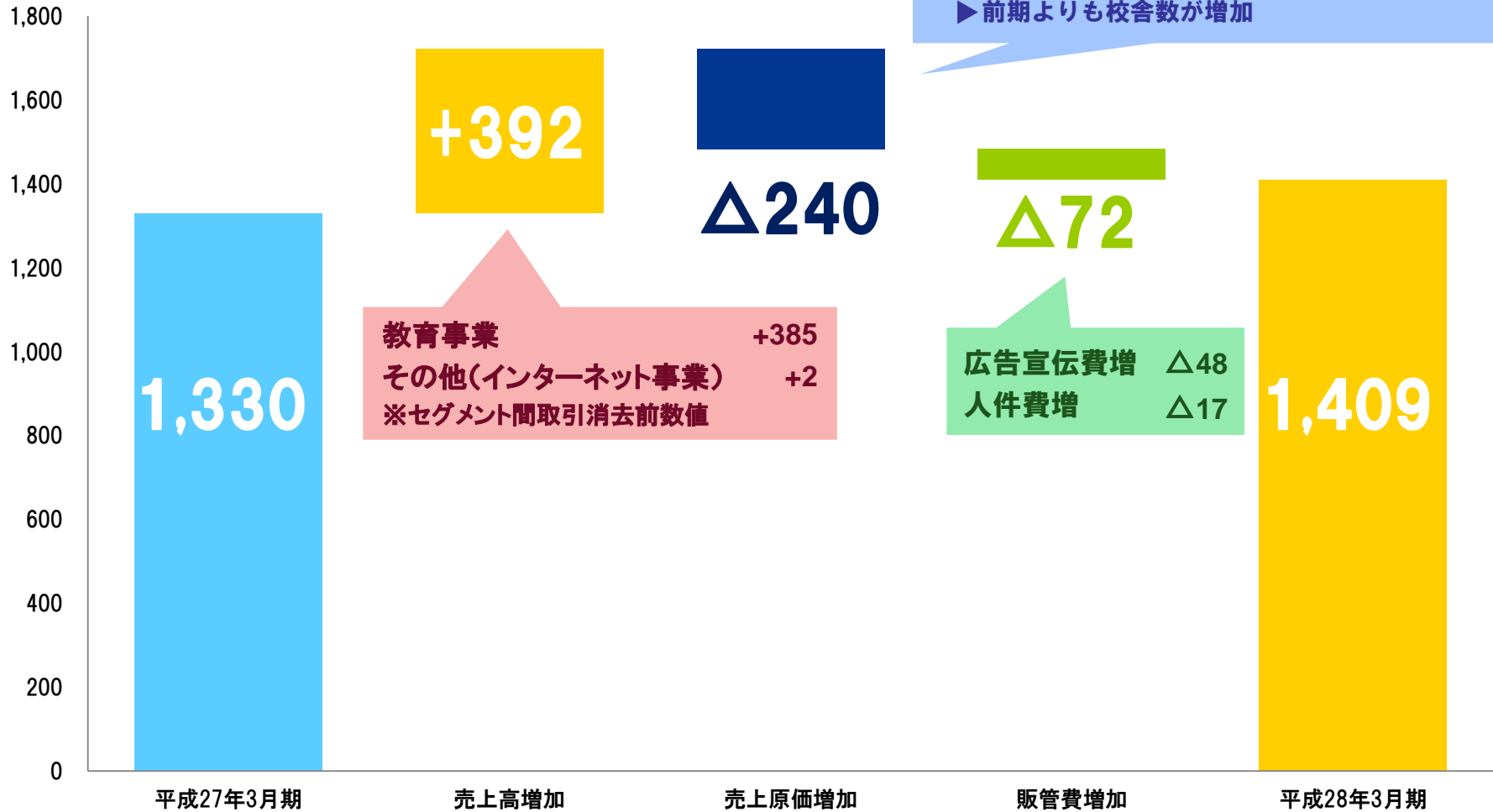
▶ 対前年比で売上高増加

▶ 対前年比で売上原価増加

▶ 対前年比で販管費増加

営業利益の増加要因

(単位:百万円)



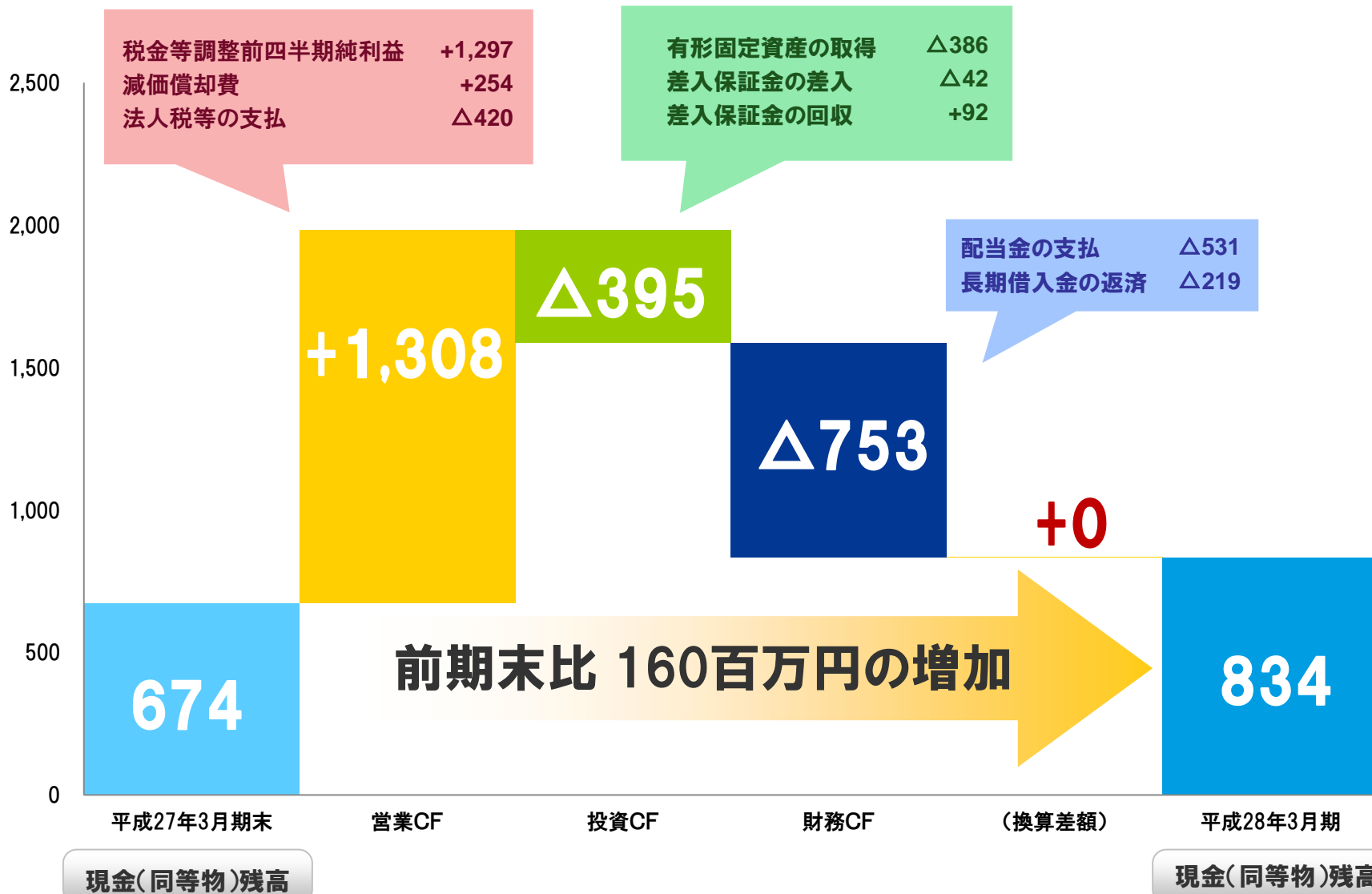
貸借対照表（連結）

（単位：百万円、％）

	平成27年3月期末		平成28年3月期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	1,145	21.9	1,230	24.0	84	資産 ●現金及び預金の増加+160百万円 ●売掛金の減少△28百万円 ●「企業結合に関する会計基準」等の適用によるのれんの減少△160百万円 ●差入保証金の減少△51百万円
固定資産	4,078	78.1	3,886	76.0	△191	
資産合計	5,223	100.0	5,117	100.0	△106	
流動負債	2,113	40.5	2,078	40.6	△35	負債 ●前受金の減少△30百万円 ●未払金の増加+68百万円 ●未払法人税等の増加+26百万円 ●未払消費税等の減少△133百万円 ●長期借入金の減少△216百万円
固定負債	591	11.3	380	7.4	△210	
負債合計	2,705	51.8	2,458	48.0	△246	
純資産合計	2,518	48.2	2,658	52.0	139	純資産 ●配当金の支払△535百万円 ●「企業結合に関する会計基準」等の適用による資本剰余金及び利益剰余金の減少△160百万円 ●親会社株主に帰属する当期純利益の計上+832百万円
負債・純資産合計	5,223	100.0	5,117	100.0	△106	

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）



Ⅱ. 今期の戦略

平成29年3月期 業績予想 (連結)

(単位:百万円、%)

	平成28年3月期 実績		平成29年3月期 予想	
	2Q累計	通期	通期	前年同期比
売上高	4,924	9,711	10,153	4.5
営業利益	897	1,409	1,515	7.5
経常利益	896	1,418	1,516	6.9
親会社株主に帰属する 純利益	577	832	985	18.4
1株当たり 純利益	53.97円	77.77円	92.09円	
売上営業利益 高率	18.2	14.5	14.9	

1. 都立中高一貫校、都立難関高校の対策塾へ他塾に先駆けシフトチェンジ

- ・都立復権、コストパフォーマンスにより、都立中高一貫校、都立難関高校の人気の高まることを予期し、この新しい市場への対応を中心とする進学塾へ他塾に先駆けてシフトチェンジ。
- ・他塾では、私立中高一貫校、名門私立大学付属中高という従来からの市場への対応を中心としているため、この新しい市場において、他塾を大きく引き離している。

2. 都立中高一貫校受検における抜群の合格実績

- ・平成28年入試において、全都立中高一貫校11校(含区立九段中等)に682名(前年度624名)合格し、合格者数実績No.1を獲得することができた。
- ・立川国際中、南多摩中、三鷹中、武蔵高附属中、富士高附属中、大泉高附属中、小石川中、区立九段中等の計8校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

3. 都立難関高校受験における高い合格実績

- ・平成28年入試において、都立西部難関高校5校(立川高、国分寺高、国立高、八王子東高、西高)に297名の合格実績を出すことができた。
- ・立川高、国分寺高、国立高、八王子東高の計4校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

全都立中11校合計で1位を獲得(※1)

No.1	都立立川国際中 (※2)	100名 (占有率67%)
No.1	都立三鷹中	96名 (占有率60%)
No.1	都立南多摩中	95名 (占有率59%)
No.1	都立武蔵高附属中	83名 (占有率69%)
No.1	都立富士高附属中	64名 (占有率53%)
No.1	都立大泉高附属中	57名 (占有率48%)
No.1	都立小石川中	51名 (占有率32%)
No.1	区立九段中等	35名 (占有率22%)
	都立桜修館中・都立白鷗高附属中・ 都立両国高附属中	101名

**全都立中高
一貫校(※1)
合計
682名**

(前年度 624名)

※1 上記実績には区立九段中等を含みます。





※2 立川国際中の占有率は一般枠定員に対する数値です。

※3 10時間以上の指導実績のある生徒のみを合格実績にカウントしており、本科生であっても10時間以上の指導実績がなければ合格実績に加算しておりません。

※4 No.1の表記は、常設教室で通年授業を行い、チラシ等で合格実績を謳っている塾の中で比較して使用しております。

※5 九段中等を除く都立中10校一般枠に対する占有率は45%です。

都立難関高校

 No.1	都立立川高	72名	(占有率23%)
 No.1	都立国分寺高	68名	(占有率22%)
 No.1	都立国立高	57名	(占有率18%)
 No.1	都立八王子東高	57名	(占有率18%)
	都立西高	43名	(占有率14%)
	都立新宿高	38名	(占有率12%)
	都立青山高	23名	
	都立戸山高	18名	
	都立日比谷高	11名	

都立高校
合計
1,686名

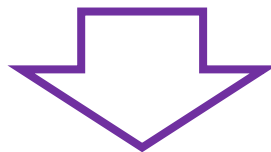
- ※1 10時間以上の指導実績のある生徒のみを合格実績にカウントしており、本科生であっても10時間以上の指導実績がなければ合格実績に加算していません。
- ※2 No.1の表記は、常設教室で通年授業を行い、チラシ等で合格実績を謳っている塾の中で比較して使用しております。

1. 少子化による教育関連市場の縮小

教育関連業界全体では、少子化の影響で市場規模が縮小傾向にある。しかしながら、東京都内及び近郊エリアに限ってみれば、人口流入により学齢人口の増加が続いている。

2. 不況による教育費支出への影響

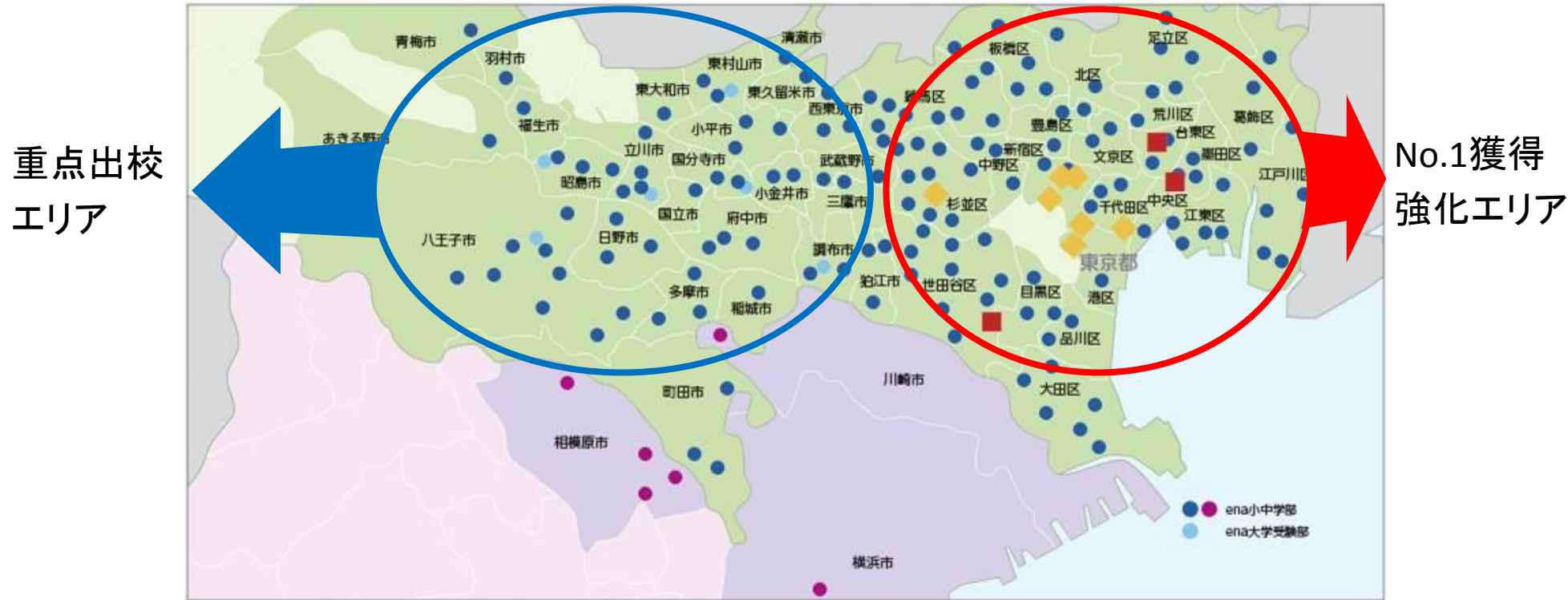
各世帯において、私立中学・高校への進学という投資が卒業後の進路にどのような成果をもたらすかという視線が厳しくなる中、都立中高一貫校及び都立難関高校の人気が高まっている。



当社の強みを生かし、都立中高一貫校・都立難関高校入試の合格実績シェアをさらに高めていく。

G 学究社 具体的施策1 新規校舎展開

No.1を獲得していない都立中高一貫校・都立難関高校の強化及び西部重点地域への重点出校。



当社がNo.1を獲得していない都立中高一貫校(■)、都立難関高校(◆)、ena校舎の出校状況。(平成28年3月31日現在)

既存の武蔵境南口校に加え、前期武蔵境北口校を新規開校。

※開校数及び開校時期は、不動産市況・物件状況・経営環境によって変更される場合があります。

G 学究社 具体的施策1 新規校舎展開(続き)

開校計画

ブランド	平成27年3月期 (実績)	平成28年3月期 (実績)	平成29年3月期 (計画)
ena	24校	9校	7校
マイスクールena	—	2校	—
ena新セミ	1校	2校	2校
ena新美	1校	—	—
計	26校	13校	9校

※1 上記の校舎数には業態変更による開校が含まれております。

※2 開校ブランド、開校数及び開校時期は、不動産市況・物件状況・経営環境によって変更される場合があります。

2. 広告媒体の多様化

TVコマーシャルをはじめ、TV番組(テレビ東京系列「合格モーニング!」)、トレインチャンネル、YouTube等、各種広告媒体を幅広く活用

3. 内部充実

新規出校数を抑えて、内部充実を図る

カリキュラム・・・中学部における学校の内申対策の完全実施

教材・・・オリジナルテキストの改定・新刊作成

研修・・・授業マニュアルの映像化、教科研修の増加

4. 校舎の統廃合

個別指導単独校舎と小中学部校舎の統合(大規模校舎の有効活用)

経費削減・適正規模化

5. 合宿場の充実

清里合宿場・富士山合宿場1号館に続き、
富士山2号館を今夏より稼働開始
収容人員の確保により、
今般の需要過多の状況を解消



[富士山合宿場2号館]

6. 人材の確保

新卒・中途社員を積極採用

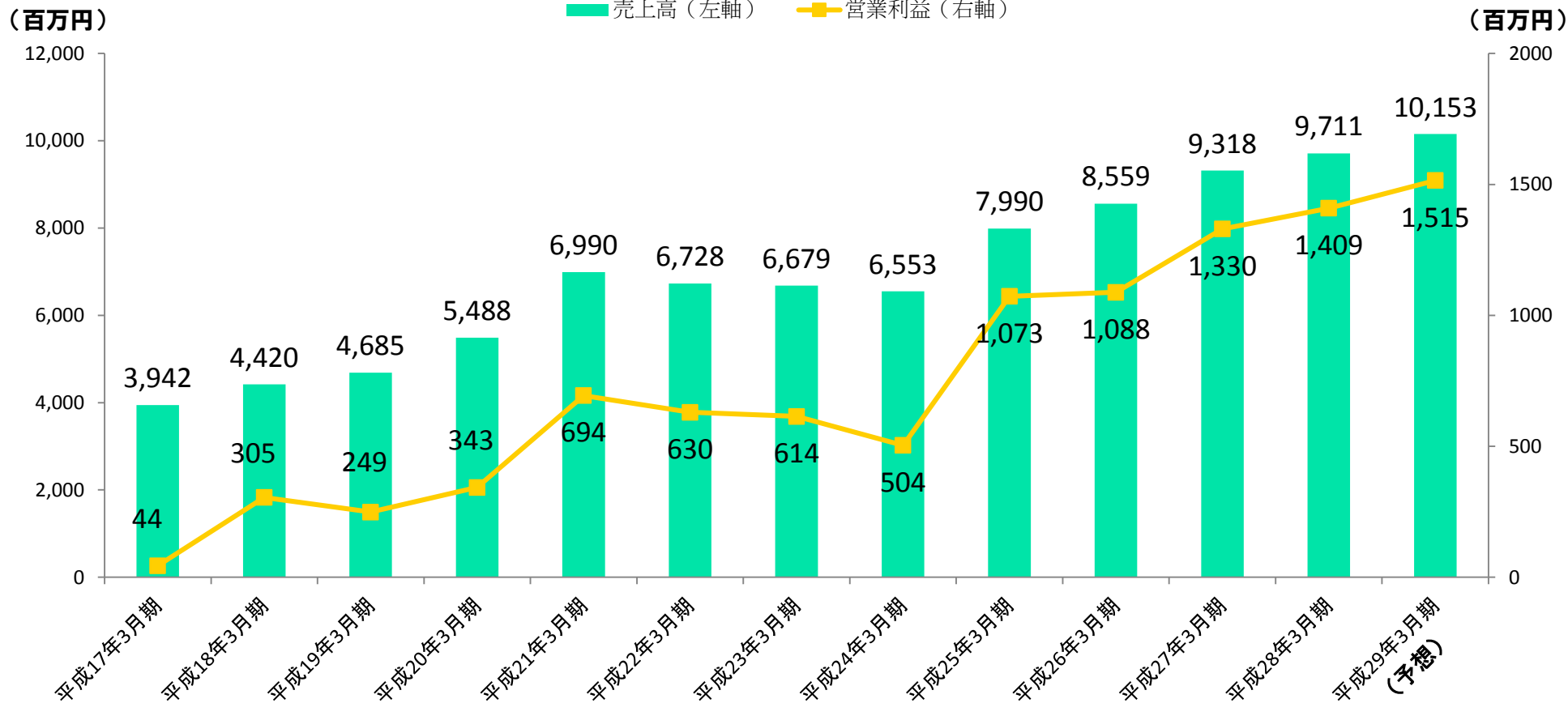
新卒採用計画

平成27年4月入社(平成28年3月期): 35名(実績)

平成28年4月入社(平成29年3月期): 30名(実績)

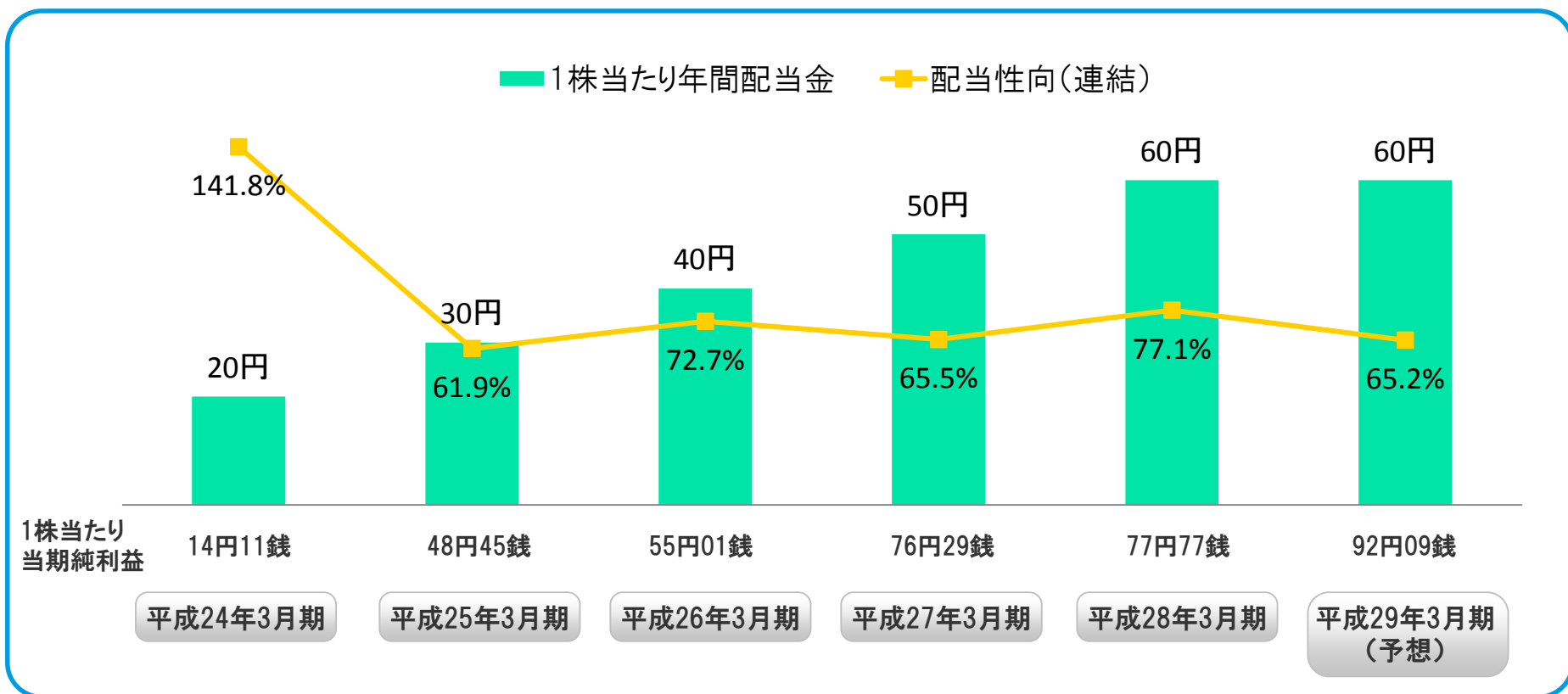
平成29年4月入社(平成30年3月期): 40名(計画)

業績の推移



※平成25年3月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年3月期については、当該会計方針の変更を反映した遡及処理後の数値となります。

株主還元



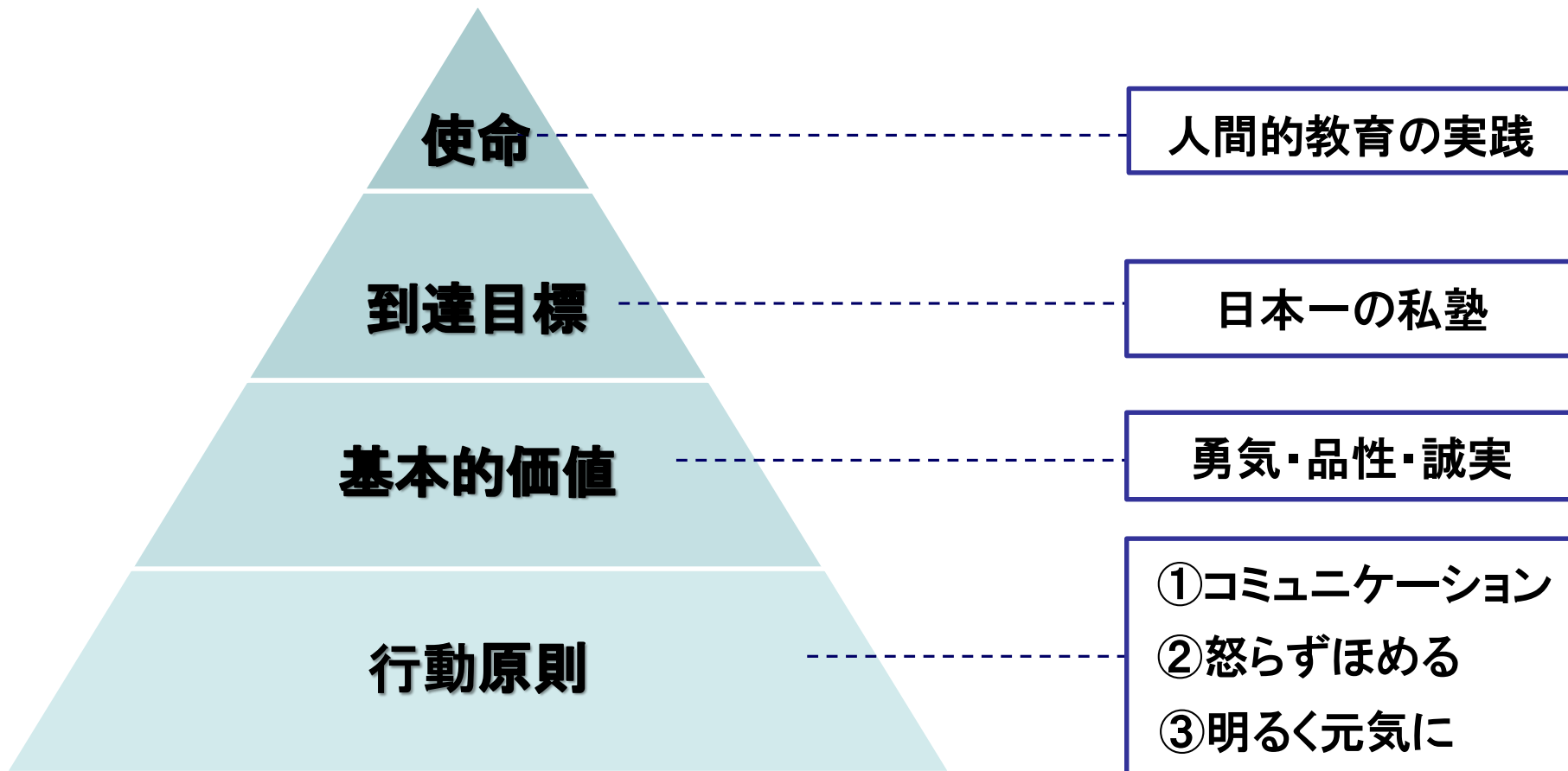
※当社は、平成27年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成24年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり年間配当金及び1株当たり当期純利益を算出しております。

利益配分の基本方針

長期にわたる安定基盤の確立に努めるとともに、株主の皆様への業績に対応した成果の配分を行い、利益還元を強化してまいります。

Ⅲ. 参考資料

■学究社グループ経営理念



当社ブランドの特長 (参考)



幅広い年齢層に対応した、生徒・保護者様からのさまざまなニーズにこたえるブランド構築

※校舎数は平成28年6月2日現在。

校舎・授業風景(参考)

[校舎外観]



[校舎内の様子]



[授業風景]



[受験講演会]



合宿場(参考)

清里合宿場・富士山合宿場では、夏期合宿、週末合宿、GW合宿等、短期間で飛躍的な学習効果をもたらす合宿特訓を実施しております。

[清里合宿場]



- ・体験授業
(牧場体験、自然体験)も用意

[富士山合宿場(旧経団連ゲストハウス)]



- ・平成26年より新たに稼働
- ・旧経団連ゲストハウス
- ・都心からのアクセスに優れている

本資料に掲載されている株式会社学究社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社学究社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにも全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

IRお問い合わせ

管理本部IR担当

TEL : 03-6300-5311

E-mail : ir@ena.co.jp